



印西市議会議員

こんにちは！ ますだようこです

series2 vol.11

発行/増田葉子 2018.1.31 印西市内野2-1-6-202 TEL080-5082-0970 Fax0476-46-6809 e-mail/YFA49624@nifty.com
ホームページもご覧いただけます http://www.masuda-yoko.com

12月定例議会(11/29~12/21)の議案と、私の一般質問、市政への視点をご報告します。

12月議会の議案

①条例の一部改正 3件

- ・育児休業条例／保育所に入れない等の事情で、2歳まで育児休業を延長できるという雇用保険法の改正を条例に反映させた。常勤職員はすでに3歳まで育児休業が取得できるので、この改正は一定条件を満たす非常勤職員が対象。
- ・市税条例／配偶者控除の制度変更等、税制改正を条例に反映させた。
- ・給与条例／人事院勧告により、給与、勤勉手当(賞与)等が若干アップした。また、組織・職制の大幅な見直しがされ、来年度から15年以上続いた「班制」が「係長制」に戻される。

②補正予算 4件

- ・一般会計／固定資産税の課税誤りの還付金4億3,309万円ほか、障がい、保育、生活保護など福祉関係の実績増で約5億7千万円など、10億2,470万円の増額補正。
- ・特別会計／介護保険の制度変更に対応するシステム改修費等、介護保険、国保、下水道事業でそれぞれ増額の補正。

③財産の取得 1件

児童用の机と椅子1,195組を1,051万6千円で購入。

④指定管理者の指定 1件

牧の原学童クラブの指定管理者を、特定非営利活動法人ワーカーズコープに、来年度から5年間再度指定する。

⑤和解及び損害賠償 1件

公用車の交通事故で、賠償金158万円を支払う。

⑥専決処分の承認・報告 3件

先の総選挙の費用4,757万円の承認の他、公用車の交通事故等2件の賠償金の支払いが報告された。

リニアと比べてささやかですが…

世間ではリニア談合が騒がれていましたが、市議会でも入札関連で気になる議案がありましたので、少しふれてみたいと思います。

上記③の通り、児童用の机・椅子を、一般競争入札で購入しました。牧の原小を除く全小中学校で、毎年一学年ごとに新品に入れ替えていく9カ年計画の、今回は3年目です。3年分の価格データと応札業者を一

議会報告会 開きます！

12月議会の報告と、自由な意見交換の場です。市政へのご質問、ご意見をお待ちしています。お気軽にご参加ください。

土曜日の午後です！

2月10日(土) 13:30~16:30
中央駅前地域交流館2号館3階 工芸室2

覧表にしてみました。

下表の通り、初年度は、市内業者Cが、比較的高めの落札率で落とす結果でした。

入札にあたっての仕様(納入する製品の条件をまとめたもの)は、特定の製品を明示してはいませんでしたが、すべての条件をクリアすると一つの製品に絞られてしまう内容で、正直言って「こんな気持ちの悪い入札をこれから毎年延々と続けるのか…」と複雑な気持ちでした(賛成はしましたが…)。

そこで、製品を指定して単価での入札にし、残り8学年分の価格を一回で決めてしまっはどうかと提案しましたが、結果的に同じ方式の入札が続きました。そして、今年、半額以下での落札になりました。

なにが正しい？正解ない入札

3回目の今年、仕様の条件が緩和され、複数の製品が対象になりました。すでに書いたように、過去2回は、結果的に「この製品」と指定する内容でした。暗にそうなので、何か後ろ暗いことでもあるの？とつい勘ぐってしまいましたが、現場経験が長い教育職の職員が「この机と椅子が最良」

年度	27年度(1年目)	28年度(2年目)	29年度(3年目)
予定価格(単価)	21,490円	21,470円	21,260円
落札率	98.53%	92.22%	41.39%
落札価格(単価)	20,100円	19,800円	8,800円
応札業者 (◎が落札)	A(成田市) B(我孫子市) C(印西市)◎ D(白井市)	A C◎	B C(辞退) D◎

と考えて作成したのだらうと思います。

今回、入札が公告されると、業者Bから議員を通じて告発があり、市長の判断で条件が変更されました。結果、価格は半額以下になり、表面的には「条件を緩和して競争性が高まった」と言えるかもしれません。

しかし、表の通り、参加する業者数が増えたわけではなく、いつもの顔ぶれでした。本来、一般競争入札は、参加したい人に等しく機会を確保し、公正な価格競争をしていこうという趣旨です。しかし、どうも今回は、まっとうな競争とは違う力学が働いたように感じます。むしろ、告発したBが落札

していたら、自らを有利にするために条件を変えさせた、とも言え、それも気持ちの良いことではありません。

条件を緩和したことで、学年によって机・椅子がバラバラになる可能性もあります。一方で、高い落札率が続いて良いわけではないので、私にはどちらが正解だったのか分からない状態です。

いずれにしても、あと6学年分あるので、来年度以降もこの机・椅子の入札は続きます。公正な競争で、希望の製品をより安く購入するにはどうしたらいいのか、仕様書や予定価格の設定をもっと考え工夫してほしいものだと思います。

私の一般質問

人口10万人突破目前の印西市

文化施設、子ども子育て施設は足りている？

合併前の旧印西市には「4 駅圏構想」なる公共施設の整備構想がありました。それに基づき、今から20～30年前に、木下、小林、千葉ニュータウン中央、印西牧の原の各駅圏に、公民館、児童館、図書館、老人福祉センターなどの公共施設が整備されました。

合併で市域も広がり、人口は多くの施設が造られた当時から倍増しました。特に人口が増えた地域では、文化施設、コミュニティ施設、児童館のような子どもの施設は足りているのでしょうか。文化芸術振興の面から文化施設を中心に質問しました。

私の質問

市長、担当部長の答弁

平成24年度に策定した芸術文化振興基本方針で、「芸術文化振興計画」をつくり、文化施設の整備について検討していくことにしていたが、「芸術文化振興計画」は怎么样了か？

「芸術文化振興計画」は「教育振興基本計画の文化芸術編」として策定しているところだ。

「教育振興基本計画 文化芸術編」では、施設整備についてまったくふれていないが、検討から除外したのか？

文化施設ではなく生涯学習施設として、生涯学習編で検討した。

生涯学習編でも、施設の機能充実は推進事項としてあがっているが、新施設の整備は入っていない。策定にあたってどんなニーズ調査をしたのか？

文化芸術関係39団体に、課題や施策への期待をアンケート調査した。

関係団体からは「文化施設の整備が必要」という声があったはずだ。市民満足度調査でも、とくにニュータウン地区で文化施設の整備を求める自由意見が多数みられる。こうした声には、今やらずに、いつ、どこで検討していくつもりか？

次の総合計画の中で、しっかりと検討していきたい。文化芸術は大事であり、市民からの要望も聞いているので、前向きに考えざるを得ないと思う。積極的に進めていきたい。

人口減少社会となり、国をあげて、公共施設を減らせという号令が発せられ、全国一律に縮減方針の計画をつくらされています。印西市でもつくりました。しかし、いまでも人口が増えている印西市は、独自の構想を考えるべきではないでしょうか。

私の質問

市長、担当部長の答弁

4 駅圏構想に次ぐ新たな構想が必要ではないか？

将来的には人口が減少し、財源の確保も難しくなる。施設「保有量」の縮減に取り組む必要があるので、ご理解願いたい。

いま人口は増えている中で縮減とは、4 駅圏構想の整備が過大だったのか？現在の市民生活はどうしたらいいのか。図書館や小ホールのような文化施設、地域活動のためのコミュニティ施設、子どもたちが安心して遊べる児童館のような施設は足りているという認識なのか？

社会情勢の変化により、新たに必要となる施設は、既存施設の集約化・複合化の検討もあわせて必要になる。

どこに新しい施設を造り、どの施設を集約するのか、そうした検討に構想が必要ではないのか？施設整備はまちづくりの視点が必要だ。「保有量」などとコンサルタントがつくった数字だけで考えるものではない。

長期的に適正化に取り組んでいく必要がありご理解願いたい。